

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

間質性肺炎における血中バイオマーカーの後方解析研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 呼吸器内科（研究責任者） 権 寧博

<研究期間>

承認日 ～ 西暦 2025 年 3 月 31 日

<研究の目的と意義>

間質性肺炎は、肺に炎症や線維化がおきることで呼吸が苦しくなる病気です。間質性肺炎は様々な原因によって生じます。間質性肺炎は原因の特定がとて難しく、発症から数年たつてようやく原因が判明することが珍しくありません。一方で、間質性肺炎はそれぞれの原因に応じて治療法が異なります。よって最適な治療を選択するために、間質性肺炎の原因をより早く知るための血液バイオマーカー※の開発が望まれます。

わたしたちは、これまでに多くの患者様やボランティアの皆さまにご協力をいただきながら、間質性肺炎のバイオマーカー研究を行ってまいりました。今回の研究では、これまでご提供をいただいた血液や情報、測定データを用いることで、間質性肺炎の原因をより早期に知るためのバイオマーカーの同定を試みます。

※バイオマーカー：身体の状態を客観的に評価するための指標のこと。検診などで用いられる血液バイオマーカーとしては、大腸がんを検出するための CEA や前立腺癌を検出するための PSA があります。

<利用する試料・情報の項目>

過去の臨床研究である「RK100910-2：慢性炎症性肺疾患における新規免疫バイオマーカー探索」、「RK130412-19：間質性肺炎および膠原病の診断、治療に関係するバイオマーカーの網羅的解析」においてご提供いただいた血液およびカルテの記載内容、日常診療で実施した各種検査結果の情報を再度利用させていただきます。

<対象となる患者さん>

西暦 2010 年 10 月 8 日～西暦 2017 年 5 月 12 日の期間に「慢性炎症性肺疾患における新規免疫バイオマーカー探索」に参加し、血液のご提供をいただいた方、または西暦 2013 年 4 月 26 日～西暦 2017 年 5 月 21 日の期間に「間質性肺炎および膠原病の診断、治療に関係するバイオマーカーの網羅的解析」にご参加され血液のご提供をいただいた方が対象となります。

<研究の方法>

まず、間質性肺炎の患者様、間質性肺炎以外の呼吸器疾患の患者様、健常ボランティアの皆様の血液を用いて、間質性肺炎の患者様のみで増加または減少している血液内の分子をみつけます。そして、みつけた分子をこれまでの診療情報や各種検査所見、治療内容と比較して、診断、治療効果予測、病状悪化の予測が可能となるようなバイオマーカーを確立します。

研究の結果は、国内外の学会や研究会、論文等で発表させていただきますが、その際は個人情報の取扱いに十分注意いたします。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

呼吸器内科

氏名:権 寧博

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2402

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)